

# 都議会民主党レポート

2009 夏号

【発行 都議会民主党政策調査会】  
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1  
TEL.03-5320-7230 FAX.03-5388-1784



MATSUSHITA REIKO TOGIKAI MINSYUTO REPORT

# 松下 玲子

都議会議員  
まつした れいこ



【松下玲子プロフィール】1970年生まれ。実践女子大学卒業後、サッポロビール(株)で8年間の勤務後、早稲田大学大学院修了、(財)松下政経塾での研修を経て、2005年都議初当選。現在厚生委員会理事として、安心して子どもを産み育てる環境の整備、医療政策等都民福祉向上に取り組む。家族は夫(会社員)と子ども。趣味は落語、演劇・美術・狂言・歌舞伎鑑賞。

## 東京都議会第2回定例会報告

# 「都民の生活が第一。」

## 新銀行東京からの早期撤退を求める



▲ 2009年6月3日 厚生委員会

2009年第2回定例会が、6月5日に閉会しました。

7月12日の都議会議員選挙を前にした今議会は、私たち都議会議員として4年の任期の最後の定例会となりました。私たち都議会民主党は、石原知事に対して、新銀行問題をはじめ、医療や介護、子育てや教育、雇用、防災など、「都民の生活が第一。」という視点に立って、積極的に政策提案を行ってきました。

私たち都議会民主党は、未来への責任を自覚し、これからも都政改革に懸命に取り組んでいく決意です。皆様のより一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

### Topics 1

## 新銀行 さらに100億円超の赤字もはや存続が自己目的化

■新銀行東京が発表した決算によれば、2008年度の赤字額は105億円。貸出金の4割超の760億円が国向けである一方、一般融資のうち中小企業向けは、3割以下に過ぎません。

民主党は「2007年の知事選での争点化を避けるため、問題を先送りした」として「400億円の追加出資も、都議選までの場当たりの延命措置。存続が自己目的化している」と批判。併せて、新銀行からの早期撤退を主張しましたが、石原知事は「再建こそが私の責任」と述べるにとどまりました。



### Topics 2

## 全国最下位の介護基盤整備 高齢者施策を抜本強化せよ

■未曾有の高齢社会を支える介護サービスの拡充は緊急の課題です。

しかし、東京の高齢者人口あたりの介護保険施設は、全国最下位です。ホームヘルパーやケアマネージャーの勤務年数も約3年と短く、介護施設も不足、そこで働く人手も不足しており、都内の特養237施設中76施設が赤字です。

民主党は、地価などの物件費、人件費も高い都に必要な介護基盤の整備を促進するため、整備費補助に加えて、経営を改善し、新規参入者を増やし、既存法人も新たな事業を展開できる支援を求めました。

今後も高齢者施策の抜本強化を求めています。



Topics 3

# 安全・安心の東京へ 防災対策の充実・強化を図れ

都の木造住宅の耐震化助成は、木造住宅密集地域のうち、特に危険度の高い「整備地域」に選定された地域の木造住宅が対象です。



しかし、地域危険度測定データでの建物倒壊度や火災危険度が高いにも関わらず、整備地域から漏れている地域があります。

そのため民主党は、助成対象を建物倒壊度の高い全ての地域に拡大することを改めて求めました。

また、国が新たに公表した、地球温暖化の影響を含む東京湾沿岸の高潮被害想定を踏まえ、高潮対策の見直しも求めました。

Topics 4

# 車依存社会からの脱却を！ 都市・東京の将来像を示せ

自動車交通は東京の経済を支え、都民生活を豊かにしてきた一方で、交通渋滞の慢性化、環境や都民の健康への悪影響などの弊害も引き起こしています。

これを改善するため、都は「TDM（交通需要マネジメント）東京行動プラン」で総合的施策を示し、車から公共交通利用への転換を図ろうとしていますが、十分な効果は上がっていません。



民主党は、車への依存を最小化するためには都民の合意形成が必要であり、都市・東京の将来像を改めて示すべきと訴えました。

# 命を守り育む東京へ

2009年6月3日  
厚生委員会質問要旨

◆松下玲子都議会議員は、所属する厚生委員会で今定例会に提出された補正予算の中の、**新型インフルエンザ対策、保育対策緊急支援事業、小児医療体制緊急強化事業**について質問しました。合計特殊出生率が全国で一番低い東京を、安心して子どもを産み育てることができる東京、子育てしやすい東京へ変えていかなければなりません。子育て支援は次世代を育成するための未来への投資であり、緊急に拡充していくことが求められています。



## 都民の安心・安全のための 新型インフルエンザ対策

**過** 去の事例からも、再び秋以降に新型インフルエンザが大流行する可能性もあり、感染症指定医療機関である2つの病院に病床数を増やすための補正予算が提案されました。そこで、実際に病床が増える時期と新たな病床が出来るまでの対応、入院か自宅療養かの振り分けをどのように行うのか、病院の対応などについて質問し、新型インフルエンザについての正確で最新の情報を、都民に提供し、感染防止のために啓発や広報をしっかりと行うよう要望しています。

が増えており、保育所の定員と絶対数が足りない現状で、定員数がどのくらい増えるのか質問しま

した。また、保育所は仕事と子育ての両立支援だけではなく、一時保育や離乳食指導、赤ちゃんのひろばの実施など、子育て支援の拠点としてもその役割は大きいこと、設置には設置主体である区市町村の意向が大きく左右されることを指摘し、保育所設置に向けて区市町村に積極的に働きかけ、区市町村の負担軽減を今後も継続的に行うよう要望しました。

## 保育所は都独自の補助導入で 平成21年度整備目標8000人と1.5倍増へ

**国** の交付金を財源につくられた「安心こども基金」の対象とならない認証保育所の設置促進のため、新たな補助制度が導入されました。制度導入の経緯とその補助の仕組み、待機児童

### 都政に関するご意見・ご要望をお寄せ下さい

お名前                      ご住所                      お電話番号

FAX.0422-50-0697 E-mail reiko@matsushita.name



民主党

# 子育てしやすい東京へ

都議会民主党  
武蔵野支部

# 松下 玲子 事務所

〒180-0006 武蔵野市中町1-39-3 日興ビル2階

TEL.0422-50-0696 FAX.0422-50-0697 E-mail reiko@matsushita.name



街頭都政報告会  
随時開催しています

随時更新中

オフィシャルホームページ

<http://www.015.bz/>